

保育計画成果報告書

| | |
|---------|----------------------------------|
| 法人名等 | 社会福祉法人輝宝福祉会 |
| 施設名 | 石巻たから保育園 |
| 報告者（役職） | 小野崎大通（施設長） |
| 住所・連絡先 | 宮城県石巻市蛇田字沖 13 |
| | ☎ 0225-90-4990 |
| | E-mail takara@kihofukushikai.com |

○タイトル（保育計画）

子どもの発達を考える

○主な助成備品

マット、簡易鉄棒、身長計、体重計、プール、お散歩避難車、ベビーカー

1. 保育計画策定の目的

子どもの発達を見ながら、日々の生活を考え、成長に繋げていく。家庭で子どもたちは、テレビやビデオ、ゲーム、スマホにタブレットの脳への刺激があまりにも強すぎる日常を送り、23時、24時の遅寝、8時過ぎの遅起き、一汁三菜の朝食が好ましいがシリアルと牛乳又はバナナ、パンと牛乳等の食事が多く家庭での子どもたちの育ちに危機感を感じており、少しでも保育園でできることを遊びの中で成長を見ながら年齢に沿った育ちを促す。

2. 具体的な実施内容

発達の把握のため1ヵ月単位で身長計、体重計を使い（0歳児は週単位）、日々テレビ等のメディア漬けの子どもたちは身体の緊張が高く、和らげる必要が多分にあり、普段から身体に触れてあげたり、摩ってあげたりしている。特に週末家庭で過ごした週明け月曜、火曜は緊張が高く、園内を奇声を上げて走り回る子どもが多く、大人の話が子どもたちに入らないためロールマットを使い身体をほぐし、その後、運動を行ったりする。年長は、全員が鉄棒で前周りを出来るようになり、自分の恐怖心を身体の育ちで出来るという気持ちが育ち、後ろ周りも出来るようになりつつあります。普段からリズム運動を行い、鉄棒やプールを使いながら筋力、体力をつけ、脳を刺激し発育を促す。〈写真〉



ロールマットで緊張をほぐします。



身体を育み、できるを増やします。



日々ピアノに合わせて身体を動かし、身体の基本を作っています。
子どもたちの成長を見ながら年齢に合った出来るを飛ばさず順序よく遊びに入れています。



夏はプールに夏祭り、楽しく遊ぶことが出来ました。



住宅地からお散歩できるところまで移動します。有事の際には避難車として使用します。

3. その成果と評価

発達を見ながら運動会の種目や障害物の難易度を決め行った。子どもたちは楽しく無理せず、保護者も成長を感じることができた。通年 2～3 回の年齢別保護者懇談会を行い、子どもにどのような環境が望ましいか、年齢に合った成長をしているか、子どもの家庭の状況と保育園の状況を共有し親の学習会を行いながら、子育ての理解をしてもらえるよう配慮している。子育てをまじめに考えてくれる保護者が増えたが、依然として反発する親も多い。継続することで成果が出ればと願っている。

4. 今後の課題と展望

今後も日々の生活の中で子どもたちの発達を把握しながら、成長を促していく。今後の課題として、開園したばかりであったため自然とのふれあいをなかなか入れることが出来なかった。四季を感じながら自然に触れられるよう外に出るように散歩や園外保育を多分に取り入れていきたい。また、保護者へ子ども中心の環境を作ってくれるよう働きかけて行きたい。

以上